

科目区分	専門分野	履修学年	1 年前期	単位数	2	時間数	45
科目名	基礎看護概論			担当教員	専任教員		
使用 テキスト	1) メディカ出版 ①基礎看護学 看護学概論 2) メディカ出版 看護の統合と実践 ①看護管理						
テキスト 以外の教 材・参考 書等	1) 日本看護協会出版会 ヴァージニア・ヘンダーソン 看護の基本となるもの 2) 現代社 看護覚書 看護であること看護でないこと 3) 医学書院 系統看護学講座 基礎看護学① 看護学概論						
授業の概要及び到達目標							
<p><u>授業の概要</u></p> <p>看護学概論は、看護学を学ぶ上で基礎的な土台となる科目である。各看護技術に先行し講義を行う。看護の主要概念である「人間」「健康」「環境」「看護」の考え方を基に、看護理論を捉え、看護の目的・役割を理解できるようにする。看護の概念を学び、看護の本質と位置づけ、役割について理解していく。</p> <p><u>到達目標</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護の基本概念が理解できる。</li> <li>2. 看護の役割と機能について理解できる。</li> <li>3. 看護の対象について理解できる。</li> <li>3. 看護における倫理について理解できる。</li> <li>4. 看護提供の仕組みについて理解できる。</li> <li>5. 看護とは何か、看護師という職業について自己の考えをもつことができる。</li> </ol>							
評価方法	筆記試験 課題レポート グループワーク参加状況						
備考	関連科目：生命倫理, 文化人類学, 家族社会学, 生活科学, 社会福祉, 関係法規, 基礎看護学, 災害看護・国際看護						

回数	授業計画 学習内容	備考
1	自分の目指す看護師とは何か	講義
2	「看護の対象である人間」、「健康」、「看護」、「環境」についてどのように考えたか。グループワーク	レポート
3		グループワーク
4		
5		
6		
7		

8	発表、まとめ	
9	1. 看護の概念 ・看護の本質 ・看護の変遷 ・看護の定義	
10	看護の役割と機能 ・看護ケアについて ・看護実践とその資質に必要な条件	講義 グループワーク
11	・看護の役割・機能の拡大 ・看護の継続性と連携 ・多職種チームの連携と継続的関わり	
12	2. 看護の対象の理解 ・人間の「こころ」と「からだ」を知ることの意味 ・生涯発達し続ける存在としての人間理解 ・人間の「暮らし」の理解	
13	3. 国民の健康状態と生活 ・健康の定義（WHO、ウェルネス） ・健康に影響を及ぼす原因 ・国民全体の健康に対する指標 ・ライフサイクルと健康	講義 グループワーク
14	4. 看護の提供者 ・職業としての看護 ・看護職の資格・育成制度・就業状況	
15	・看護職者の継続教育とキャリア開発	講義 グループワーク
16	・看護者の養成制度の課題	
17	5. 看護における倫理 ・現代社会と倫理	講義 グループワーク
18	・医療をめぐる倫理の歴史的経緯と看護理論	
19	・看護実践における倫理問題への取り組み	
20	6. 看護提供の仕組み（看護管理） ・サービスとしての看護	講義 グループワーク
21	・看護サービス提供の場 ・看護をめぐる制度と政策	
22	・看護サービスの管理 ・医療安全と医療の質的保証	
23	終講試験 まとめ解説	